

vol.89

November 2019

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

# TOPOS

[特集]

常磐大学&水戸ホーリーホック  
コラボデー 2019





# 10th 常磐大学 & 水戸ホーリーホック コラボデー 2019

8月24日、地元Jリーグ水戸ホーリーホックVS東京ヴェルディ戦において、常磐大学と水戸ホーリーホックのコラボデーを開催しました。地域活性化を目的に結ばれた連携協定を機に始まり、今年で10年目を迎えます。学校法人常磐大学の幼稚園から大学まで、すべての学校の学生・生徒・園児が運営に貢献し、実社会との関わりを学ぶ教育の機会として実施しています。今回は、学生・生徒・園児、教職員ら約500人が参加し、会場には1,000人を超える常磐大学関係者を含め、全体では5,771人の来場者が訪れ、大盛況の一日となりました。



13:30



START! 15:00



13:45



## コラボデー準備に奔走する学生たち

来場者を楽しんでいただくためにイベントを運営する学生たちが会場入りし、準備に奔走。さらに智学館・高校・短期大学の有志ボランティアも集い、当日の流れや注意点を確認。最後は全員でかけ声を合わせて、一致団結のスタートです!

## イベント運営で活躍! 総合政策学部経営学科

総合政策学部経営学科の正規の授業科目「マーケティング演習」を履修する学生たちが1~4のイベントを企画から運営まですべて手がけています。この科目では、現実的な課題に対する解決策をチームで考案・実践していくことを目指します。今回のコラボデーでは「いかにして地元プロスポーツクラブの観客動員数を増加させるか」を課題に、4月から学生たちが調査・立案・プレゼンテーション等を重ねて、この日を迎えました。

## 1 みんなで楽しく ホーリー映え♡

来場者が記念撮影できるフォトブースを用意しました。手づくりのMITO HOLLYHOCKロゴの前で観戦の思い出づくり! マスコットキャラクター「ホーリーくん」も登場して、撮影は大いに盛り上がりました。

## 2 Goal E Motto☆ 貼っちゃうぞ

観戦に一体感を生み出すフェイスペイントを来場者にサービス。ホーリーホックのロゴやホーリーくん、ときわんこのシールを好きな場所にプリント。熱心なサポーターや子どもたちに大人気の恒例イベントです。





3



4



5



6



7

### 3 ホーリー チャレンジ2019

サッカーを気軽に楽しんでもらえるよう、サッカーにボウリングの要素を取り入れた「ホーリング」、ピンゴ形式の「ホーリースロー」では、子どもたちが次々とチャレンジし、景品をゲットしていきました!

### 4 サポーターに人気 ホーリーホックイズ

水戸ホーリーホックに関するクイズを出題。参加者には参加景品、さらには選手のサイン入り色紙という豪華景品も用意しました。あこがれの選手の色紙を手に入れようと、皆さん真剣にクイズを解いていました。

### 5 葵カップカレー＆ 常夏のVSカレー

人間科学部健康栄養学科の学生が考案したカレーを販売しました。ホーリーを意味する「葵」にちなんだブルーのカレー＆常夏(ときなつ)のグリーンのカレー。コラボデーならではのアイデアメニュー!

### 6 ときわ涼み処で おもてなし

2018年4月に開設した看護学部看護学科の学生有志による企画。熱中症予防や対処法をわかりやすく解説しました。熱中症に関するクイズ、キックボウリングの企画も開催し、楽しみながら健康知識が学べる場に。

### 7 智学館ダンス部 オリジナルダンス

智学館ダンス部の11人が、この日に向けて練習に励んできた成果を披露しました。部員たちは緊張しつつも、息の合ったダンスを踊りきって、観客からのあたたかい拍手に包まれました。



16:15



8

17:40



9

18:00



10



13

### 8 高校女子サッカー部 対FC水戸シルエラ

「関東リーガスチューデント」参戦中の高校女子サッカー部が前座試合。対戦相手のFC水戸シルエラは、日頃、合同練習なども行っている社会人中心の地元クラブチーム。結果は0-2でしたが善戦しました!

### 9 高校男子サッカー部 ミニゲーム大会

高校男子サッカー部は部員約70人を擁する大所帯。この日は部員総出で、ホーリーホックパークで子どもたちにミニサッカー教室を開催しました。子ども一人ひとりに寄り添い、サッカーの楽しさを伝えました。

### 10 小櫃重秀 理事長 より代表挨拶

「水戸ホーリーホックVS東京ヴェルディ」戦のキックオフを前に小櫃重秀理事長より代表挨拶がありました。年1回のコラボデーを心待ちにしていた観客も多く、スタジアムは大きな拍手に包まれました。

### 11 高校チア・ダンス部 ウェルカムダンス

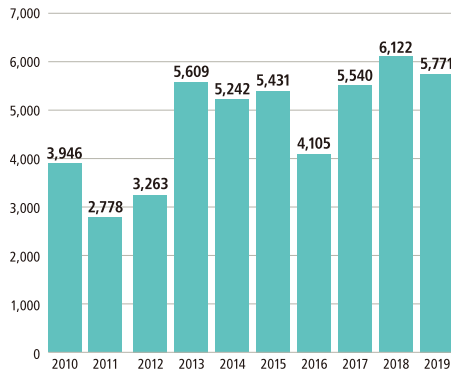
高校のチア・ダンス部で総勢約100人による圧巻のウェルカムダンスが披露されました。日頃から地域の各種イベントでも活躍し、地域の人気を集めるチーム。コラボデーに花を添えて、観客を盛り上げました。

### 12 豪華! TOKIWA 合同吹奏楽団

大学・短期大学・高校・智学館・OBOGによるTOKIWA合同吹奏楽団が、選手入場曲を演奏。初めてのコラボレーションにもかかわらず、息はピッタリで、見事なハーモニーがスタジアム全体に響きわたりました。



来場者数(人)



当初は4,000人未満の来場者数でしたが、徐々に人数を増やし、近年では6,000人規模の集客を誇る地域活性化イベントに成長しました。夏恒例のALL TOKIWA企画として、サポーターをはじめ地域の方々に知られる特別なコラボデーになっています。

過去の対戦相手: サガン鳥栖、FC岐阜、ガイナレ鳥取、コンサドーレ札幌、愛媛FC、ツエーゲン金沢、カマタマーレ讃岐、京都サンガF.C.、ジェフユナイテッド千葉、東京ヴェルディ



11



12



15



14



20:00

### 13 フェアプレーフラッグベアラー

選手、審判団に先駆けて、最初に入場するのがフェアプレーフラッグ。フェアプレーの象徴である黄色い旗を掲げ、選手と観客の気持ちを引き締めます。今年も哲学館生徒有志6人がその役割を担いました。

### 14 サッカー選手のエスコートキッズ

常磐大学幼稚園の園児たちが、水戸ホーリーホックと東京ヴェルディの選手をエスコートして入場しました。大歓声に包まれて、選手と手をつなぎ、しっかりとした足取りでフィールドを行進しました。

### 15 高校チア・ダンス部 ハーフタイムダンス

前半戦を終えて、高校チア・ダンス部によるハーフタイムダンス。チアスピリットあふれるダンスパフォーマンスに、観客は拍手喝采。これから迎える後半戦に向けて、選手とサポーターに元気を届けました。

### ギリギリの熱い戦いを繰り広げて、1-2で試合終了!

東京ヴェルディ戦は、1-2で残念ながら敗れてしまいましたが、白熱の攻防が繰り広げられて、観客は大いに盛り上がりました。試合観戦だけでなく、イベントや交流を楽しめた充実の1日となったようです。

### 舞台裏 常磐大学サッカー部があと片づけに活躍

観客が去った後、「北関東大学サッカーリーグ」で奮闘中の常磐大学サッカー部員がスタジアムの片づけにあたりました。栃木県での試合を終えた後でしたが、テキパキと作業。スポーツエンターテインメントの舞台裏を知る一幕でした。





## 「水戸市学生食育サポーター」に 人間科学部健康栄養学科の学生121人が任命！

健康栄養学科の学生121人が水戸市教育委員会から「水戸市学生食育サポーター」に任命され、6月5日に本学で任命書交付式が行われました。4年目を迎えるこの活動は、2～4年生が食育活動の支援員として、市内の小中学校の児童・生徒および保護者に食育の情報提供や活動補助を行うもので、依頼件数は年間50件近くにのぼります。健康栄養学科長の齋藤慎二教授は「食と栄養のエキスパートとして、大学での学びを実践する良い機会です。このチャンスを生かし、今後の学校生活、将来の職業人としての目標につながるよう多くを学びとってほしい」とエールを送りました。各学年を代表して、松本真梨亜さん(2年)は「児童・生徒に食の大切さを知ってもらえるよう実践的な活動を取り入れていきたい」、谷島圭亮さん(3年)は「授業で学んだ知識をどう教育の現場で生かしていけるかが楽しみ」と抱負を語りました。2年次から活動を続ける門野日花さん(4年・教職課程代表)は「これまでは活動をこなすことに精いっぱいでしたが、今年は指導者の役割も意識しながら積極的に児童・生徒と関わっていきたい」と、自身の栄養教諭の目標もふまえた、意気込みを語ってくれました。



## News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。  
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず  
さらなる広がりを見せています。  
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



### 吹奏楽団が茨城県吹奏楽コンクール金賞 受賞。4年連続で、東関東大会出場へ

8月11日、ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県立県民文化センター)で開催された第59回茨城県吹奏楽コンクール・大学の部で、常磐大学吹奏楽団が金賞を受賞。4年連続の県代表となり、9月22日、第25回東関東吹奏楽コンクール・大学の部に出場しました。団員数は36人の少数精鋭。会場となった横須賀芸術劇場の素晴らしい音響環境の中で、練習の成果をホールいっぱいに響かせました。惜しくも銅賞となりましたが、この経験がさらなる飛躍の糧となるでしょう。(写真提供:株式会社フォトライフ)



### 地域の三大学連携講演会で、 SDGs達成に向けたアクションを考える

7月25日、茨城大学・常磐大学・茨城キリスト教大学の三大学共催で「SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた地域・大学のアクションを考える」と題した講演会が開かれました。会場の茨城大学水戸キャンパスのライブラリーホールには学生や市民など100人以上が訪れ、講演は各大学に中継されました。SDGsとは2015年に国連で採択された『持続可能な開発のための2030アジェンダ』にある17の目標。「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「産業と技術革新の基礎をつくろう」「気候変動に具体的な対策を」などの目標があり、大学も重要なプレイヤーです。講演では前国連地域開発センター所長高瀬千賀子氏がSDGsが生まれた経緯を紹介。続いて三村信男茨城大学学長、富田敬子常磐大学学長、東海林宏司茨城キリスト教大学学長が各大学での取り組みを報告しました。➤





ア国連職員の経歴もある富田学長は『実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる』との常磐大学建学の精神に言及して「実学とは社会のさまざまな問題の解決を示す学問であり、まさにSDGs推進に寄与する」と話し、SDGsに関連する教育研究「ときわアクション」を紹介しました。学長鼎談では、地域や大学の役割、そして未来に必要な人材などを語り合いました。今回の講演会はSDGsを一人ひとりが身近に感じるきっかけとなり、各大学の取り組みや連携を加速させる契機となることでしょう。



## New Generation, New Festival! 見どころたっぷりの智学館フェスティバル

9月14日・15日、第6回智学館フェスティバル2019が開催されました。今年のテーマは「New Generation, New Festival」。1年次から6年次まで工夫を凝らした模擬店やクラス展示、アトラクションがずらりと並び、一般公開した15日には、多くの方が来校しフェスティバルを楽しみました。体育館で行われた舞台発表では、吹奏楽や合唱、演劇、ダンス、空手の演武などさまざまなジャンルの演目が披露され、観客は拍手喝采。生徒たちが懸命に準備して作り上げた智学館フェスティバルは大盛況となりました。



## 「茨城ロボッツ」のバスケットボール教室 未来のNBA選手が誕生するかも!?

6月27日、プロバスケットボールBリーグに所属する「茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント」から専属コーチをお招きして、年長組を対象にしたバスケットボール教室が開かれました。2人の女性コーチのかけ声に合わせて、横歩き・後ろ歩きの準備体操、本物のバスケットボールに触れてのボール遊びやコーチとのボール投げっこ、ドリブル練習などに挑戦。最後はチームに分かれて、大声援に包まれてのドリブルリレーに白熱しました。園児たちは笑顔で「楽しかった!」と口々に話し、今年度初のバスケットボール教室を終えることができました。次回は、年中組を対象に教室を開く予定です。この活動がきっかけとなって、将来バスケットボール選手が誕生するかもしれませんね。



## 「トビタテ!留学JAPAN~日本代表プログラム~」 本学学生が第11期生代表として決意表明!

7月28日、官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN~日本代表プログラム」(以下、トビタテ)に選出された学生の壮行会が文部科学省で開かれました。多様性人材コースに採用された人間科学部現代社会学科2年の二村周さんは、第11期生(2019年度後期)544人を代表して記念品を受領。会では柴山昌彦文部科学大臣がこの制度の意義を話し、日本を代表するアンバサダーとしての役割を期待するエールが送られました。続いて、スポンサー企業代表のキッコーマン株式会社常務執行役員の松崎毅氏からは、世界における日本の役割が語られました。先輩トビタテ生から「トビタテ生ネットワーク」が紹介されると、二村さんら3人の学生がそれぞれの留学計画を披露し、留学に向けた決意を表明しました。二村さんのテーマは『歴史博物館を生涯学習拠点としてもっと元気に!~異世代・多文化交流の新しい学びの場の創出をめざす映像資料の制作』。台湾の太華科技大学ビジネス・管理学部に留学し、国立台湾博物館および順益台湾原住民博物館でボランティアガイドを務めます。グローバルに活躍する学生たちの活躍に期待しましょう!



## クラス団結で目指せ、学年の頂点! 熱き戦いに沸いた「クラスマッチ」

7月4日・5日、石岡運動公園で「クラスマッチ」が開催されました。会場は各クラスのオリジナリティあふれるTシャツで埋めつくされ、クラス一丸となって優勝を目指しました。1日目は、男子はバスケットボール、女子はドッジボールの2種目が行われ、2日目は男子はサッカー、女子はバレーボール、そして、クラス対抗リレーとチームジャンプで大いに盛り上がりました。今年度は、クラスの旗を制作するなど応援合戦にも熱が入った戦いが繰り広げられました。クラスマッチは、スポーツを通じてクラスが力を合わせて一つとなり、高校生活の思い出となる大切なイベントです。優勝したクラス、結果が残せなかったクラスなど結果はそれぞれでしたが、クラスの絆はきっと深まったことでしょう。







## 関東女子大学秋季Cブロック対抗戦で ゴルフ部優勝。来季はBブロック昇格へ!

9月5日・6日、2019年度関東女子大学秋季A・B・C・Dブロック対抗戦が埼玉県本庄市のこだまゴルフクラブで開催されました。常磐大学ゴルフ部はCブロックで出場。春季大会では惜しくも準優勝でしたが、今大会では、決勝戦で慶應義塾大学に21打差をつけてCブロック優勝を勝ちとり、雪辱を果たしました。この優勝で、2020年度の春季大会からはBブロックへの昇格が決定しました。強豪がひしめくBブロックでの戦いに備え、日頃の練習や冬季トレーニングを強化していきます。なお、Cブロックの最優秀選手に、人間科学部現代社会学科2年の宮本夏実選手が140ストローク(2ラウンド)で選ばれました。

【Cブロック】常磐大学・慶應義塾大学・青山学院大学・富士大学・聖心女子大学・駿河台大学(欠場)



## 「あらためて認知症って何?」をテーマに 心理臨床センター主催・第27回公開講演会

7月21日、筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センター精神科の佐藤晋爾教授を講師にお招きして、心理臨床センター主催公開講演会が開催されました。テーマは65歳以上の患者数が約462万人にのぼる認知症。佐藤先生は認知症の原因疾患や発症メカニズムを脳科学などの見地から解説。よくある物忘れの症状は「昨晚の食事内容を思い出せないのは健康的な物忘れ、食事をしたこと自体を思い出せないのが病的な物忘れで、“物忘れ＝認知症”ではありません」と話されて、わかりやすい語りを受講者は聴き入っていました。予防については、さまざまな予防法の中でも「生活リズムを整え、適度に運動をしながら、身体を健康的に保つことが第一です」とアドバイスされていました。



## 常磐大学・常磐短期大学の保護者会 未来に向けた教育の取り組みを報告

6月29日、常磐大学・常磐短期大学の保護者会を開催しました。富田学長の挨拶の後、学長による「グローバル時代における高等教育」をテーマとした講演会が行われました。その後は、常磐大学後援会総会・常磐短期大学父母の会総会、学生食堂での昼食体験、学科別懇談会、そして施設見学などが行われ、学生が学んでいる環境や、大学の取り組みについて、学校側と保護者の方々が情報共有を図りました。当日はあいにくの天気となりましたが、500人を超える保護者の方々に足を運んでいただきました。



## 甲子園まであと一歩! 茨城大会で準優勝 全力で戦う野球部に、生徒から熱い声援

7月6日～24日、第101回全国高等学校野球選手権茨城大会が行われました。本校野球部は決勝戦まで進み、準優勝に輝きました。駆け付けた生徒たちは、応援団や吹奏楽、チアリーディングと一体となって、グラウンドに届け!と思いを込めて全力で応援しました。接戦となり緊迫する場面もありましたが、野球部員、生徒たちにとって記憶に残る夏の熱い戦いとなりました。



## もっとTOKIWAを知りたい! オープンスクール&体験入部

本校を目指す中学生と保護者の方に向けて、オープンスクール(7月23日～26日)、体験入部(8月8日・9日)を開催しました。オープンスクールでは、4日間で2,000人を超える方々にご来校いただき、参加した中学生からは「先輩や先生が親切に案内してくれてうれしかった」「すごく楽しかった」などの感想をいただきました。体験入部では、300人を超える中学生が部活動に参加しました。短期間ではありましたが、活気ある本校の部活動の雰囲気を感じていただく機会になったのではないのでしょうか。



## 80代から10代まで卒業生が一堂に! 2019年度常磐学園同窓会総会・懇親会

8月25日、同窓会総会と懇親会がホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸で行われました。総会と懇親会は隔年で開催されており、80代の先輩方から2018年度の卒業生まで、じつに幅広い年齢層が一堂に会しました。懇親会では、平成30年磯節全国大会で総合優勝された卒業生の伊藤芳枝さんによる磯節LIVEが披露されました。また、余興でビンゴ大会も行われ、大いに盛り上がりしました。次回開催は2021年度です。卒業生の皆さん、卒業予定の皆さん、ご参加をお待ちしています!







## 主体的な学びの姿勢を涵養する 毎年恒例の夏の学習合宿

7月23日～25日、行方市の研修施設「レイクエコー」で、毎年恒例となっている学習合宿を行いました。この合宿は生徒が自ら学習計画を立て、自学自習に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を身に付けることを目的としています。通常の授業とは異なり、上級生や下級生と一緒に学べる場でもあり、相互に刺激し合う良い機会となりました。



## 未来のグローバルISTを目指して 英語での発信力を高める「English Day」

7月6日、今年で12回目を迎える英語発表会「English Day」が開催されました。生徒たちは年次に応じて難度の増す課題に取り組み、英語での発信力アップを目指します。1年次は歌詞の暗唱、2年次は英語劇、3、4、5年次はテーマに沿ってプレゼンテーションを行い、6年次は司会など運営スタッフとして参加します。ステージに立った生徒たちは緊張しながらも、日頃の学習や準備の成果を発揮することができました。また、上級生のハイレベルな発表は下級生にとって大きな刺激となり、おのおのが次回の目標を定めていました。



## 日々稽古に励み、自分に打ち克つ！ 空手の魅力を発信する空手道同好会

空手道同好会は、発足から今年で5年目を迎え、現在8人が活動しています。昇級審査で決められる帯の色は、まさに汗と努力の象徴。「ライバルは自分自身」の思いで、日々稽古に励み、2人が黒帯を取得するまでに。留学生の来訪時には空手の演武を披露し、常磐大学幼稚園の「空手エクササイズ」を担当するなど、空手の魅力を伝える活動も積極的に行っています。本校の体育授業では「空手」を実施しており、その取り組みは、中学校授業のための空手道情報誌にも紹介されました。日本を象徴する武道文化の担い手として、今後も幅広く活動していきます。



## 秋の収穫が待ち遠しい！ 園児みんなで、さつまいもの苗植え

6月12日、JA水戸青年部事務局の方々のご指導のもと、さつまいもの苗植えを行いました。昨年まで野菜づくりをしていた畑を使って、今年は全学年でさつまいもづくりに挑戦！未就園児クラスの「まつの子ぐみ」も苗植えに参加し、園児たちは土を掘って苗を植え、お布団をかけるようにやさしく土をかぶせてあげました。苗は夏の日差しをたくさん浴びて、すくすくとつるを伸ばして成長しています。園児一同、秋の収穫を心待ちにしています。



## 2019年度第1回入園説明会を開催。 スライドや交流で園の魅力アピール

7月11日、来年度入園希望の親子の皆さんに向けて、入園説明会を実施しました。説明会では、本園ならではの特色ある保育や教育方針について、昨年度の保育活動のスライドをご覧いただきながら説明しました。その後は、年長児が歌や手遊びを披露し「みんなで遊ぼう」タイムを開催。参加された親子の皆さんは、在園児と交流して、子どもたちはキラキラした目で楽しんでいました。入園説明会は年3回実施しています。是非足を運んでいただき、じかに本園の魅力に触れていただけたらと思います。



## 縁日気分で、夏の夕べを楽しむ 人気の夏休み恒例行事「夏まつり」開催

夏本番の7月27日、気温が下がりだした夕方から、夏休み恒例行事の「夏まつり」を開催しました。ちょうちんの明かりが揺れる園のテラスに、子どもたちそれぞれのお祭り衣装が彩りを添えて、夏まつりムードを高めます。今回は「おたのしみコーナー」と題してのサプライズで、フランクフルトのお店を出しました。給食の先生にご協力をいただいた香ばしいフランクフルトを、ご家族でおいしく召し上がっていただきました。このほかヨーヨー釣り、ビンゴゲームなど縁日のお店も軒を並べ、園児をはじめ保護者の皆さんにも楽しんでいただけた夏の夕べとなりました。







# Eye on Clubs

部活動で輝く生徒に注目!

高等学校

甲子園まで目前! 強豪校を破り、茨城大会準優勝!

野球部

Baseball



第101回全国高校野球選手権茨城大会で12年ぶりの準優勝を果たしました。甲子園まであと一步の決勝戦では選手たちの熱い戦いが繰り広げられ、600人を超える生徒がエールを送りました。チームを率いた海老澤監督は「今回の決勝戦は、勝ち上がるほど精神的な強さが求められることを痛感した試合でした。しかし、自分たちの可能性を確信する大きな一歩になったと思います。甲子園の荘厳な雰囲気と時間は行った者だけが味わえます。一つひとつの大会を大切に勝ち抜きたいと思います」と語りました。海老澤監督の指導は「野球に学べ」をモットーに優れた人格形成を目指し、朝勉強を取り入れた文武両道を貫くことで知られます。心技体を磨き抜いた球児たちが甲子園の地を踏む日までもう少しです。



監督 海老澤 芳雅

野球部 部長  
所 宜和(高校2年)

「凡事徹底」で全力投球!

先輩たちが築き上げた実績を、今度は自分たちが継承し、さらに高めていく番です。チームでは「凡事徹底」を合言葉に、基礎や技能練習、生活態度に到るまで自分を律して全力で取り組んでいます。自分は部長として部員一人ひとりに目を配り、チームを統率していきたいと考えています。スタンドからの地域や学校の皆さんの応援は、僕らの大きな励みになりました。これからの常磐大学高等学校野球部にご期待ください!



DATA

常磐大学高等学校野球部 部員数:52人(マネージャー9人)  
2019年度:第71回春季関東地区高等学校野球茨城県大会ベスト8  
第101回全国高校野球選手権茨城大会準優勝

## 祝 いきいき茨城ゆめ国体2019出場で活躍した先生たち

### 女子バスケットボール



早坂 彰恵

常磐大学高等学校 保健体育教諭・女子バスケットボール部顧問  
筑波大学体育専門学群 卒業  
日本リーグ「シャンソンVマジック」(シャンソン化粧品)元所属

全国のトップ選手が集まる試合で、競技の魅力をもっと生徒たちに伝えられたらと出場を決めました。今の私のプレーを見てもらうことで、高校生の今だからこそできる最高のプレーを目指してほしいと思っています。

### 女子ソフトテニス



荒川 こずえ

常磐大学高等学校 保健体育教諭・ソフトテニス部副顧問  
文教大学 卒業  
高校インターハイ出場 元文教大学テニスコーチ

「テニスは人生そのもの」と言っていほど私を成長させてくれたスポーツです。国体は強い選手から学ぶ絶好の機会。この挑戦を通じて「やればやった分だけ自分に返ってくる!」ことを生徒に伝えられたらと思います。





演劇部

Drama Club



平成29年度の茨城県高等学校演劇祭では、審査員から「スタイリッシュな演出である」「命をかけた演技に感動した」と講評を受け、高校演劇に新風を吹き込んだ智学館演劇部。顧問の星先生は「型にはめ込まず、自分を表現させることを重視しています。脚本は、学園を舞台に生徒たちの経験や思いを盛り込んでいます。だからこそ自然体で迫真の演技が生まれるのです。演劇は音楽や文学などを含んだ総合芸術で、他者理解にもつながります。演劇を通じて感性を育み、自らの自信につなげてほしいと思います」と話します。現在、稽古に励むのは、悩み、成長する高校生らが主役になる『放課後Destroyers』。役者、脚本、照明、音響などそれぞれの得意を持ち寄り、最高の劇を作り上げている真っ最中です。



顧問 星真弥

DATA

智学館中等教育学校演劇部 部員数:13人  
 2017年度:第31回茨城県高等学校演劇祭優秀賞  
 2018年度:関東高校演劇サマーフェスティバル2018出場  
 2019年度:第33回茨城県高等学校演劇祭出場

脚本担当

小嶋 珠妃(5年次)

演劇の楽しさを伝えたい

幼稚園の頃から物語を書くのが好きで、顧問の星先生に声をかけていただき脚本に挑戦するようになりました。書く前はあれこれ構想を練るのですが、いざ書き出すと登場人物が勝手に動き出して物語が膨らみ、『放課後Destroyers』ができてきました。舞台演劇は役者の息づかいや迫力、臨場感をじかに味わえる良さがあります。是非多くの人に楽しんでもらいたいです。



演劇部 部長

北島 大昂(5年次)

共感と笑いを呼ぶ舞台を

舞台が大好きで、智学館に入ってから「役者になりたい」と夢を抱くようになりました。星先生のご指導は即興劇のエチュードが楽しくてワクワクします。僕らが目指すのは、観客の皆さんの共感と笑いを呼ぶ舞台。本番直前は緊張しますが、舞台上立った瞬間から無我夢中で時間が過ぎていきます。その瞬間を作り上げるために、みんなで力を合わせて稽古に励んでいます。



Eye on Books

大学・短期大学の教員が執筆したさまざまな分野の著書をご紹介します。



地域資源を活かす生活工芸双書 大麻

人間科学部 教授 平野 哲也



倉井耕一・赤星栄志・篠崎茂雄・平野哲也・大森芳紀・橋本智 著  
 2019年5月  
 一般社団法人 農山漁村文化協会  
 古くから人々と深い関わりを持ってきた大麻を対象に、植物としての特性、栽培方法、品種開発、日本列島各地の利用の歴史と多様性、現代における活用法などをまとめた本です。

絶景・秘境に息づく 世界で一番美しい シャチ図鑑

総合政策学部 教授 中原 史生



水口博也 編著  
 2019年7月  
 株式会社誠文堂新光社  
 写真家水口博也氏が世界各地に生息するシャチを撮影したビジュアル図鑑です。各地のシャチ情報を研究者が記載しており、「知床・羅臼のシャチの暮らし」を紹介しています。

はじめて学ぶ 地方自治法(第2次改訂版)

総合政策学部 教授 吉田 勉



吉田 勉 著  
 2019年8月 株式会社学陽書房  
 膨大な地方自治法の領域のポイントが明確に理解できる自治体職員およびこれを目指す学生のための入門書。監査制度の充実、内部統制の導入をはじめとする大改正に対応した改訂版。

先端・ハイブリッド行政法

総合政策学部 教授 吉田 勉



田村泰俊、千葉実、津軽石昭彦 編著  
 2019年7月 八千代出版株式会社  
 自治体実務に精通する研究者が行政法の最先端の事例や考え方を駆使して基礎から実務までの領域をわかりやすく、かつ、発展的に学ぶことができるようにした実践的指南書です。

事典 持続可能な社会と教育

総合政策学部 准教授 元木 理寿



日本環境教育学会ほか編  
 2019年7月 教育出版株式会社  
 「持続可能な社会」の構築のために、何が課題であり、今何をすべきなのかを意識するための1冊となっています。近年多発する「異常気象」の項目について執筆を担当しました。

最新 教育キーワード

155のキーワードで押さえる教育 幼児教育保育学科 助教 石崎 ちひろ



藤田晃之・佐藤博志・根津朋実・平井悠介 編著  
 2019年7月 株式会社時事通信出版局  
 約10年ぶりに改訂された本書では、新学習指導要領や教育改革の動向など現在の教育を捉えるキーワードが解説されています。「学校評議員制度」について執筆を担当しました。



Campus schedule	
<b>大学・短大</b>	
幼教フェスタ	<b>12/22</b> (日)
大学一般入試 I期試験日	<b>2/4</b> (火)
短大一般入試 試験日	<b>2/6</b> (木)
<b>高校</b>	
クリスマスコンサート	<b>12/21</b> (土)
推薦入試	<b>1/9</b> (木)
一般入試	<b>1/15</b> (水)
<b>智学館</b>	
第1回入学試験	<b>11/17</b> (日)
第2回入学試験	<b>12/21</b> (土)
第3回入学試験	<b>1/18</b> (土)
<b>幼稚園</b>	
入園願書受付・入園考査	<b>11/1</b> (金)
育児に役立つ勉強会	<b>11/20</b> (水)・ <b>2/5</b> (水)
発表会	<b>12/7</b> (土)

## 寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。  
[2019年5月～9月受け付け分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金	
学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して奨学金を給付することにより修学機会を与え、もって有為な人材の育成に資することを目的とした給付型奨学金制度です。	
個人	
40,000円	中村 和彦*
芳名のみ公表	江原 麻子*
	小櫃 重秀
	小宅 祐輔*
	齋藤 祐輔*
	早瀬 純子*
	武藤 勝行
	渡部 茂己*
累計金額 103,846,208円	

見和キャンパス開設50年施設整備事業募金	
施設整備事業として、ラーニング commons の整備及び新体育館の建設整備事業を順次進めてまいりました。現在は、見和キャンパス開設に合わせて建設された校舎の建て替え整備資金としての募金です。	
個人	
芳名のみ公表	岩間 健一郎*
	内田 和毅*
	海老澤 秀揮*
	小櫃 重秀
	関 いづみ*
	久松 雄大*
	横山 正和*
	渡部 茂己*
	累計金額 13,574,140円

社会福祉士を目指す学生への支援 および介護職員初任者研修奨学金	
3,200,000円   一般財団法人 安寿苑* (2019年度事業分)	

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に\*を付しました。

### 税制上の優遇措置

寄付金募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けております。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付募集の詳細については、  
ホームページをご覧ください。

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ  
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] **029-232-2554**

[メールで] **kifu@tokiwa.ac.jp**

## 皆さまからのご意見大募集!

- ①印象に残った記事とその理由など
- ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を  
メールまたははがきでお寄せください。

\*名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する  
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] **kikaku@tokiwa.ac.jp**

[はがき郵送先] 〒310-8585

茨城県水戸市見和1丁目430-1  
学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、  
抽選で20名様に  
常磐大学オリジナルグッズを  
差し上げます。



常磐大学大学院  
常磐大学  
常磐短期大学



常磐大学高等学校  
智学館中等教育学校  
常磐大学幼稚園



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

## 奨学金奨学生決定のお知らせ

ローズヴィラ水戸奨学金奨学生		
2019年度	大学	ローズヴィラ水戸奨学金 A 3人
		ローズヴィラ水戸奨学金 B 4人
		ローズヴィラ水戸奨学金 C 2人
		介護職員初任者研修奨学金 4人



常磐大学は平成28年度大学評価の結果、(公財)大学基準協会による第三者評価に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。